

第 **129** 期
報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

健康って、おいしい。

MEIJI
明治乳業



自然の無限のちからを



明治乳業のやわらかな発想で



未来のチカラへ変えます

自然のちからを、未来のチカラへ。

株主の皆様へ

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善、設備投資の増加など景気の緩やかな回復が見られました。一方、個人消費につきましては、雇用環境に若干ながら改善が見られたものの、所得の伸び悩みに加え、社会保険料等の負担増などを背景として本格的な回復には至りませんでした。

乳業界におきましては、業界を挙げて牛乳・乳製品の消費拡大に積極的に取り組みましたが、天候不順の影響もあり、飲用牛乳の消費は低調に推移しました。

このような状況の中、明治乳業グループでは、ヨーグルト・プロバイオティクス事業などのコア事業への経営資源のさらなる集中、「MEIJI」ブランドの価値向上、マーケティング力・技術開発力・商品力の強化、グループ経営効率の追求と経営の仕組み革新などに注力してまいりました。

その結果、当連結会計年度における明治乳業グループの売上高は、前期比1.1%減の7,027億5千万円となり、営業利益は前期比18.0%増の235億9千7百万円、経常利益は前期比16.1%増の234億2千1百万円となりました。

明治乳業グループを取り巻く経営環境は、少子高齢社会の進展による人口減少と人口構造の変化、食の安全・安心に対する消費者意識のさらなる高まりに加え、近年の原油、原材料価格の高騰など企業業績に影響を及ぼす懸念材料が山積しております。

一方、個人消費につきましても、景気は緩やかに回復

しているものの、所得の伸び悩みや先行き不透明感などもあり、大きな改善は見込めない状況にあります。

また、乳業界におきましては、業界を挙げて、牛乳・乳製品の消費拡大に取り組んでおりますが、飲用牛乳につきましては未だ消費が回復するまでには至っておりません。

「食」への需要減少が見込まれる中、「食」を巡る市場競争は「乳業界」という従来の枠を超え、食品業界全体での競争へと変容しており、より一層厳しさを増すものと思われま。

加えて、WTOやFTAなどの国際的な農業交渉の結果次第では、国内の酪農乳業界の受ける影響は計り知れないものがあります。

こうした厳しい環境下ではありますが、明治乳業グループでは、「独自の技術力・商品力を活かして世界の食品トップ企業と互角に競争できる食品企業グループを目指す」という長期ビジョンを掲げ、グループ全体の企業価値のさらなる向上を図っていく所存であります。

「新・総合乳業の創造」を基本コンセプトとした2008中期経営計画（平成18～20年度）の2年目にあたる平成19年度は、初年度に築いた経営基盤をより一層強固なものとするべく、「明治ブルガリアヨーグルトLB81」や「明治おいしい牛乳」といった基幹商品群のさらなる地位確立を推し進めるとともに、成長事業領域への経営資源の積極投入により、成長基盤の確立を図ります。

CONTENTS

株主の皆様へ	1	新商品のご案内	7	会社概要／役員／重要な子会社等	13
業績の推移（連結・単体）	3	連結財務諸表	9	株式の状況／株主メモ	14
事業別の概況（連結）	4	単体財務諸表	11		
部門別の概況（単体）	5	レポート	12		

具体的には、北海道河西郡芽室町に建設中の新チーズ工場を柱としたチーズ事業の強化育成、高齢社会のニーズに対応した流動食事業の拡大などに積極的に取り組む所存であります。

また、コーポレートブランドである「MEIJI」ブランド徹底強化および「明治おいしい牛乳」や「明治ブルガリア」といった全社戦略ブランドの価値向上を図るためのコミュニケーション活動を積極的に展開いたします。

次に、徹底したコスト削減を図るべく、少数精鋭体制による経営効率の向上、グループ全体での間接部門の合理化、物流費の低減などローコストオペレーション体制の構築を推進してまいります。

一方、商品・サービスの品質保証面におきましては、平成18年12月に制定した明治乳業品質保証システム「明治クオリアス」に基づき、全社一丸となって、より一層安全で魅力的な商品とサービス提供に努める所存であります。

これらにあわせまして、企業の社会的責任をこれまで以上に重視し、環境への配慮に意を用いるとともに、コンプライアンスに立脚した事業運営を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

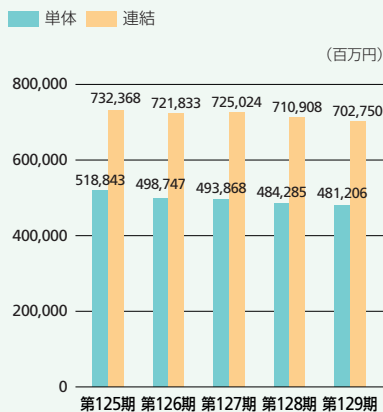


取締役社長

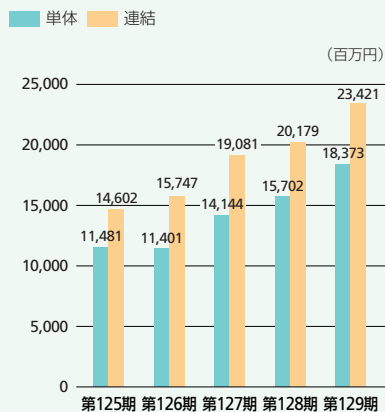
浅野 茂太郎

業績の推移 (連結・単体)

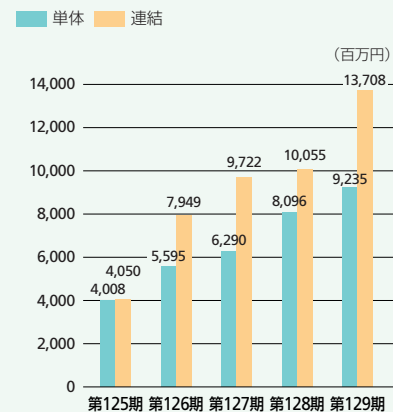
売上高



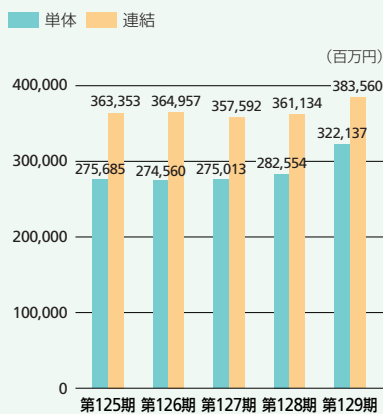
経常利益



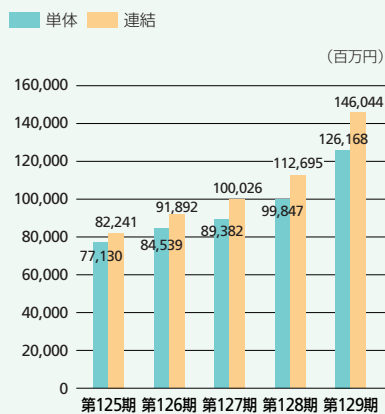
当期純利益



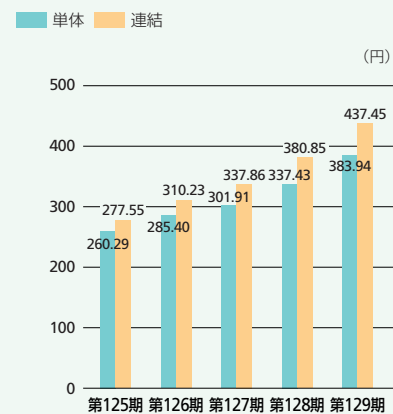
総資産



純資産

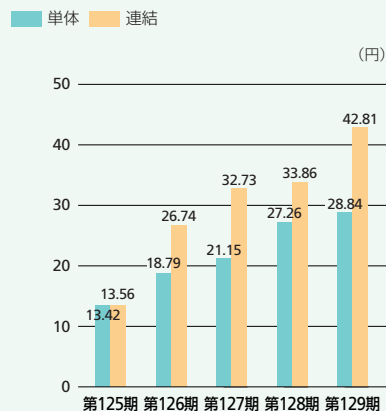


1株当たり純資産

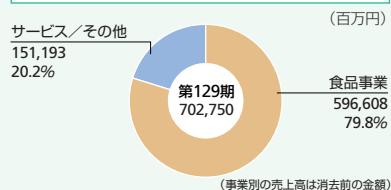


事業別の概況（連結）

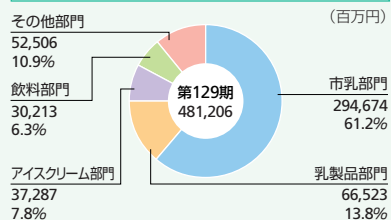
1株当たり当期純利益



事業別売上高（連結）



部門別売上高（単体）



食品事業

当事業には、牛乳、乳製品、アイスクリーム他食品の製造・販売が含まれます。

売上高は、ヨーグルトなどの売上増があったものの、牛乳類等の売上が前期実績を下回ったことなどにより、前期比1.5%減の5,966億8百万円となりました。営業利益につきましては、海外原料や包装材料のコストアップがあったものの、ヨーグルトなどの売上増に伴うプロダクトミックス改善効果に加え、経費全般の見直し効果などにより、前期比21.6%増の200億2千2百万円となりました。

サービス/その他事業

当事業には、飼料事業、物流事業、その他事業が含まれます。

売上高は、物流事業や飼料事業の売上が前期実績を上回ったことなどにより、前期比1.3%増の1,511億9千3百万円となりました。営業利益につきましては、飼料事業において原料穀物のコストアップがあったことなどにより、前期比1.6%減の34億6千万円となりました。

部門別の概況（単体）

市乳部門

牛乳類は前期実績を下回りましたが、「明治ブルガリアヨーグルトLB81」、「明治プロビオヨーグルトLG21」などのヨーグルトが好調に推移したことなどにより、当部門の売上高は前期比0.1%増の2,946億7千4百万円となりました。



明治ブルガリアヨーグルト
LB81



明治ミルクと珈琲
やわらかラテ



明治プロビオヨーグルト
LG21



明治贅沢しぼりミルク



明治おいしい牛乳

乳製品部門

チーズ、バター、乳児用コナミルクなどにより構成される当部門におきましては、チーズ、バターが前期実績を上回りましたが、乳児用コナミルクが前期実績を下回ったことなどにより、当部門の売上高は前期比1.0%減の665億2千3百万円となりました。



明治北海道十勝バター



明治
チューブでバター1/3



明治北海道十勝
スライスチーズ



明治北海道十勝
カマンベールチーズ



明治ほほえみ



栄養バランスアップミルク
明治ステップ

アイスクリーム部門

「明治エッセルスーパーカップ」が好調に推移したことなどにより、当部門の売上高は前期比1.8%増の372億8千7百万円となりました。



明治エッセル
スーパーカップ



明治
うまか棒ミニ
チョコナッツ



Aya Creamy
バニラ

飲料部門

市場競争の激化により、当部門の売上高は前期比3.3%減の302億1千3百万円となりました。



アクアブルガリア



ミニッツメイド
オレンジ

その他部門

栄養食品は堅調に推移しましたが、冷凍食品の売上減などにより、当部門の売上高は前期比4.3%減の525億6百万円となりました。



ヴァームシリーズ



明治コーンソフト



レンジピッツァ&ピッツァ2枚入



レンジエビグラタン3個入

新商品のご案内

市乳



明治+milk カフェラテ 紅茶ラテ

当社ならではの「乳」のおいしさを活かした、新しい乳飲料が新登場しました。甘さ控えめの風味で、ほっと一息ついてリフレッシュしたい時にピッタリの味に仕上げました。パッケージデザインは、おいしさをストレートに表現するシズル写真と、ミルク感をイメージさせるライトブルーの印象的なロゴデザインでシンプルに構成し、中身のおいしさを表現しました。



明治ブルガリアフルーツミックスヨーグルト低脂肪

お客様から好評を頂いている「明治ブルガリアフルーツヨーグルト(180g)シリーズ」に、新しい味が仲間入りしました。すっきり食べられる低脂肪タイプのブルガリアヨーグルトに、りんご・パイナップル・黄桃・アプリコットの果肉とバナナピューレを加えたおいしさは、「色々なフルーツを同時に楽しみたい」というお客様のニーズに応えます。



明治ミルクとバニラ やわらかバニラ

ミルクをたっぷり使用した「明治ミルクとバニラ やわらかバニラ」を発売しました。生乳をたっぷり使用し、ミルクと相性の良いバニラを加え、濃厚でありながらすっきりしたバニラの風味を楽しめる乳飲料です。



ミニッツメイドシリーズ各種

ミニッツメイドシリーズの中でも特に人気のある「ピンク・グレープフルーツ」「カシス&グレーブ」の2品を500mlサイズで新発売しました。1000mlサイズと同様に、パッケージは、フレッシュなシズルと黒を基調とした、高級感のあるデザインとしています。

アイスクリーム



明治エッセルスーパーカップ マンゴー

明治エッセルスーパーカップにマンゴーが新登場。明治エッセルならではの滑らかでココのあるアイスをベースに華やかな香りのマンゴーピューレを混ぜ込んでいます。マンゴーの豊富な風味と乳のココの組み合わせを楽しめます。



明治アイスカフェバー カフェラテ&キャラメルラテ

カフェの本格的な味わいが、手軽でおいしいアイスになりました。内側はミルク氷とホイッピングクリーム、その外側を、カフェラテ味のアイスで包んだ「カフェラテ」と、キャラメル味のアイスで包んだ「キャラメルラテ」の2種類のスティックアイスが、各4本ずつつったうれしいマルチパックです。



明治 元気なよいこ それいけ!アンパンマン パニラモナカ ミニ

子供に人気のアンパンマンキャラクターが、モナカの皮にデザインされた、楽しくかわいい、9個入りのモナカアイスです。小さな手にピッタリのミニサイズで、お子様が食べやすいように工夫しました。

チーズマーガリン



明治スライスされたクリームチーズ しっかり厚切り6枚入

厳選されたクリームチーズを100%使用したスライスチーズですので手軽にパンにのせたり、サンドイッチとしておいしく楽しめます。レタスやハム、ブルーベリージャムなどとの相性も良く、幅広いシーンでお使いいただけます。また、1枚約22gの厚切りタイプなので、クリームチーズ本来の風味や食感をしっかりと味わうことができます。



明治北海道十勝カマンベール入り 6Pチーズ ブラックペッパー入り

クリーミーな「明治北海道十勝カマンベールチーズ」を5%強配合した「明治北海道十勝カマンベール入り6Pチーズ」に、香り豊かな粗挽きブラックペッパーを加えました。現在ご好評頂いている「明治北海道十勝カマンベールチーズ ブラックペッパー入り切れてるタイプ」と合わせて、ビールやワインのおつまみに最適なチーズとしてご提案いたします。



明治元気なよいこソフト それいけ!アンパンマン ビタミンD&カルシウム入り

カルシウムの吸収を促進し、骨の形成を助けるビタミンDを1日の摂取目安量の約46%である2.3μg/10g含む栄養機能食品です(※1)。また、25mg/10gのカルシウムが摂取できますので、お子様の健やかな成長のお手伝いをいたします(※2)。パッケージは、お子様に絶大な人気を誇るアンパンマンのイラスト入りです。

※1. 日本人の食事摂取基準(2005年版)より。

※2. 五訂日本食品標準成分表 ソフトタイプマーガリン カルシウム1.4mg/10g含有

冷凍食品



彩り野菜のピッツァ

グリーンアスパラ・完熟トマト・ごぼうの3種類の野菜と、スイートコーンをトッピングして、黒こしょうをきかせたマヨネーズ風ソースとチーズで味付けした、おいしく手軽に野菜が摂れるピッツァです。



ごまだれ ごぼうれんこんカツ

食感の良いごぼうとれんこん、キャベツ、ニンジンを生産の鶏ムネ肉と合わせ、さくっと揚げたカツを香ばしい焙煎ごまだれで味付けしました。



3種類若鶏から揚げ

丸大豆醤油で味付けをした「から揚げ」、香り豊かな青のりをまぶした「磯辺揚げ」、生姜醤油のきいた「亀田揚げ」と味わいの違う3種類の若鶏から揚げを1パックにした便利でおいしいお弁当の定番です。

コナミルク・乳幼児用食品



明治ミルフィーHPスティックパック

「明治ミルフィーHP」は、ミルクアレルギーの赤ちゃんのための風味の良い粉ミルクです。従来の大缶に加えてスティックパックのアイテムを新発売しました。アレルギー用ミルクのスティックパックは他社にはなく当社だけのアイテムです。



明治ベビーフード 赤ちゃん村 レトルト

そのまま召し上がれる手軽なレトルトタイプのベビーフード「赤ちゃん村 レトルト」に、「白身魚としらすのおかず」&「豆腐と野菜とひき肉のあんかけ」がセットになった「和風ランチセット」、白身魚としらすのおかず」&「ツナクリームスパゲティ」がセットになった「おかゆ・スパゲティセット」、鮭と野菜の煮込みうどん」&「とり雑炊」がセットになった「うどん・雑炊セット」の3種類のアイテムが加わりました。

栄養食品



ヴァームゼリー for ビューティー

独自バランスの17アミノ酸素材V.A.A.M. 1500mgに、ビタミンB₆、B₉を各5mgとセラミド300μgをプラスし、軽く体を動かす習慣をサポート。「美容のために体を動かしたい」方におすすめします。さっぱりしたオレンジミックス味です。



ヴァームゼリー スムースサポート

独自バランスの17アミノ酸素材V.A.A.M. 1500mgに、関節を構成する成分の1つであるグルコサミン500mgをプラスし、軽く運動する習慣をサポート。「健康維持のために体を動かしたい」方におすすめします。さっぱりした青ウメ味です。

妊産婦・授乳婦用食品



明治ビオママ プレママ葉酸ドリンク ほうじ茶

妊娠中に不足しがちな葉酸を手軽においしく補給できる、授乳中のママや貧血ぎみの女性におすすめの商品です。1本(100g)で妊娠中に必要な1日の葉酸摂取推奨量440μgを摂ることができます(※)。後味がすっきりした、さわやかな「ほうじ茶」の味わいでおいしく飲めます。軽くて持ち運びにも便利なアルミ製のミニボトル缶で、無理なく飲むことのできる飲みきりサイズです。
※日本人の食事摂取基準(2005年版)より。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 平成19年3月31日現在	前 期 平成18年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	155,780	136,458
固定資産	227,779	224,675
資産合計	383,560	361,134
（負債の部）		
流動負債	182,255	167,346
固定負債	55,260	78,817
負債合計	237,515	246,164
少数株主持分	—	2,273
（資本の部）		
資本金	—	23,090
資本剰余金	—	21,434
利益剰余金	—	58,505
その他有価証券評価差額金	—	10,059
自己株式	—	△ 394
資本合計	—	112,695
負債、少数株主持分及び資本合計	—	361,134
（純資産の部）		
株主資本	135,481	—
資本金	33,646	—
資本剰余金	31,993	—
利益剰余金	70,407	—
自己株式	△ 566	—
評価・換算差額等	8,272	—
その他有価証券評価差額金	8,272	—
少数株主持分	2,291	—
純資産合計	146,044	—
負債及び純資産合計	383,560	—

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	前 期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	702,750	710,908
売上原価	502,635	515,712
売上総利益	200,114	195,195
販売費及び一般管理費	176,517	175,205
営業利益	23,597	19,989
営業外収益	2,896	2,746
営業外費用	3,071	2,556
経常利益	23,421	20,179
特別利益	4,799	5,598
特別損失	6,794	6,644
税金等調整前当期純利益	21,426	19,133
法人税、住民税及び事業税	5,878	6,081
法人税等調整額	1,824	2,901
少数株主利益	15	95
当期純利益	13,708	10,055

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金		
平成18年3月31日残高	23,090	21,434	58,505	△ 394	102,636	10,059	2,273	114,969
当期変動額								
新株の発行	10,556	10,556			21,112			21,112
役員賞与（注）1.			△ 35		△ 35			△ 35
剰余金の配当（注）1.			△ 1,183		△ 1,183			△ 1,183
剰余金の配当			△ 986		△ 986			△ 986
当期純利益			13,708		13,708			13,708
持分法適用会社の増加に伴う増加			424		424			424
連結子会社株式の売却に伴う減少			△ 26		△ 26			△ 26
自己株式の取得				△ 176	△ 176			△ 176
自己株式の処分		2		4	6			6
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△ 1,787	17	△ 1,769
当期変動額合計	10,556	10,558	11,902	△ 172	32,844	△ 1,787	17	31,075
平成19年3月31日残高	33,646	31,993	70,407	△ 566	135,481	8,272	2,291	146,044

(注) 1. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,123	31,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,447	△ 17,919
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,433	△ 13,490
現金及び現金同等物の増加（△減少）額	10,242	△ 153
現金及び現金同等物の期首残高	3,621	3,774
現金及び現金同等物の期末残高	13,863	3,621

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「連結貸借対照表」および「単体貸借対照表」

平成18年5月1日施行の会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。

これは貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債の差額として「純資産の部」に記載するものです。

これにより、会社の支払能力などの財政状態をより適切に表示することが可能となります。

「連結株主資本等変動計算書」

平成18年5月1日施行の会社法により、「連結株主資本等変動計算書」が新設されました。

これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、連結ベースでご報告するために作成する計算書類です。

単体財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年3月31日現在	平成18年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	138,197	103,711
固定資産	183,940	178,842
資産合計	322,137	282,554
(負債の部)		
流動負債	153,242	122,514
固定負債	42,726	60,192
負債合計	195,969	182,706
(資本の部)		
資本金	—	23,090
資本剰余金	—	21,434
利益剰余金	—	46,398
その他有価証券評価差額金	—	9,318
自己株式	—	△ 394
資本合計	—	99,847
負債及び資本合計	—	282,554
(純資産の部)		
株主資本	118,507	—
資本剰余金	33,646	—
利益剰余金	31,993	—
自己株式	53,434	—
評価・換算差額等	△ 566	—
その他有価証券評価差額金	7,660	—
純資産合計	126,168	—
負債及び純資産合計	322,137	—

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
売上高	481,206	484,285
売上原価	338,037	344,458
売上総利益	143,168	139,827
販売費及び一般管理費	124,897	124,588
営業利益	18,271	15,239
営業外収益	2,968	2,862
営業外費用	2,865	2,399
経常利益	18,373	15,702
特別利益	4,185	5,279
特別損失	6,034	7,380
税引前当期純利益	16,524	13,600
法人税、住民税及び事業税	4,728	4,004
法人税等調整額	2,560	1,500
当期純利益	9,235	8,096
前期繰越利益	—	3,159
中間配当額	—	887
当期末処分利益	—	10,368

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 期間中における剰余金の変動は、平成18年5月1日施行の会社法により新設された「株主資本等変動計算書」で説明されるため、損益計算書末尾の「未処分利益」の計算区分は廃止されました。

株主資本等変動計算書 (要旨) 当期 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
平成18年3月31日残高	23,090	21,434	46,398	△ 394	90,529	9,318	99,847
当期変動額							
新株の発行	10,556	10,556			21,112		21,112
役員賞与 (注) 1.			△ 30		△ 30		△ 30
剰余金の配当 (注) 1.			△ 1,183		△ 1,183		△ 1,183
剰余金の配当			△ 986		△ 986		△ 986
当期純利益			9,235		9,235		9,235
自己株式の取得				△ 176	△ 176		△ 176
自己株式の処分				4	6		6
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		2				△ 1,658	△ 1,658
当期変動額合計	10,556	10,558	7,036	△ 172	27,978	△ 1,658	26,320
平成19年3月31日残高	33,646	31,993	53,434	△ 566	118,507	7,660	126,168

(注) 1. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 平成18年5月1日施行の会社法により、「利益処分計算書」が廃止され、「(単体)株主資本等変動計算書」が新設されました。

これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、単体ベースでご報告するために作成する計算書類です。

全社的品質保証システム「明治クオリアス」を制定しました

平成18年12月、当社は「明治クオリアス」を制定し、公表しました。「明治クオリアス」とは、MEIJI Quality Assurance Systemの略称で当社独自の全社的な品質保証システムです。商品開発から生産、物流、販売、お客様コミュニケーションに至る全ての工程で行う品質保証活動を明文化し、全社員が実践することで、「お客様の満足と信頼を得る」ことを目的としています。また、「明治クオリアス」の制定に際しては、従来部門毎に策定していた品質保証に対する取り組みや考え方、基準、規則を一貫したものに改め、体系化しました。

当システムは、制定により完了するのではなく、その後の活動によりさらに高い品質を目指すものであり、平成19年度は、「明治クオリアス」の浸透を図ると同時に、標準・基準類の整備を行いながら、運用を開始し、平成21年度には、明治乳業グループ全体で運用できるように展開を図っていきます。

・明治乳業品質憲章

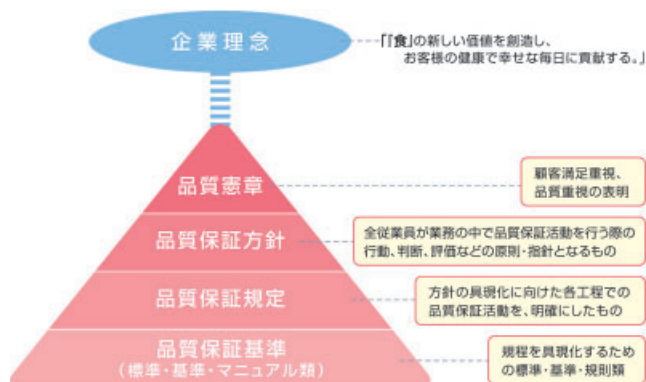
明治乳業は、お客様の満足と信頼が得られる品質を追求し、全社全部門を挙げた品質保証体制のもと、安全で魅力的な商品とサービスを提供する。

「明治クオリアス」の取組方針は次の通りです。

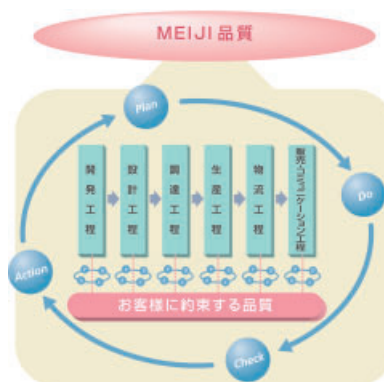
・取組方針

- ①「お客様に約束する品質」を明確にする。
- ②「お客様に約束する品質」を実現するために、商品開発から生産、販売、お客様コミュニケーションに至る全ての工程において、どのような品質保証活動を行うのかを明文化する。
- ③全ての工程において、従業員が「お客様に約束する品質」の実現のために必要なことを考え、行動する。
- ④各工程での品質保証活動が、この品質保証システムに基づき正しく行われているか、機能しているかをPlan→Do→Check→Actionのマネジメントサイクルで、継続的に確認・検証する。

「明治クオリアス」の構成要素



MEIJI品質



会社概要 (平成19年3月31日現在)

社 名 明治乳業株式会社
英 文 社 名 Meiji Dairies Corporation
設 立 大正6年12月
資 本 金 336億46百万円
本 社 所 在 地 東京都江東区新砂一丁目2番10号
従 業 員 数 4,339名

役 員 (平成19年6月28日現在)

代表取締役 取締役会長	中 山 悠	取 締 役	金 子 秀 定
代表取締役 取締役社長	浅 野 茂太郎	取 締 役	小 出 薫
専務取締役	田 中 要	取 締 役	縄 田 照 三
専務取締役	永 田 毅	取 締 役	坂 口 敏 行
専務取締役	井 原 昇 一	取 締 役	平 原 高 志
常務取締役	吉 岡 幸 一	取 締 役	大 場 進
常務取締役	塚 西 廣 美	取 締 役	中 坪 正
常務取締役	松 澤 正	取 締 役	川 村 和 夫
常務取締役	馬 場 良 雄	取 締 役	谷 中 孝 章
常務取締役	野 中 謙 一	取 締 役	小 竹 克 佳
取 締 役	峯 元 和 博	常勤監査役	吉 岡 肇
取 締 役	重 成 範 男	常勤監査役	星 野 修 邦
取 締 役	加 藤 直 樹	常勤監査役	川 島 浩 一 郎
取 締 役	山 本 潤 児	監 査 役	赤 羽 正 治
取 締 役	江 黒 雅 美	監 査 役	藤 井 吉 昭
		監 査 役	佐 貫 葉 子

重要な子会社等 (平成19年3月31日現在)

□食品事業 19社

日本罐詰株式会社
明治油脂株式会社
北海道明販株式会社
東北明販株式会社
東京明販株式会社
東京明治フーズ株式会社
中部明販株式会社
金沢明販株式会社
近畿明販株式会社
中国明販株式会社
九州明乳販売株式会社
株式会社アサヒプロイラー
明治ケンコーハム株式会社
大阪保証牛乳株式会社
四国明治乳業株式会社
東海明治株式会社
千葉明治牛乳株式会社
沖縄明治乳業株式会社
パンピー食品株式会社

□サービス・その他事業 8社

明治飼糧株式会社
フレッシュネットワークシステムズ株式会社
東京牛乳運輸株式会社
株式会社カントラ
株式会社ケー・シー・エス
大蔵製菓株式会社
株式会社明治テクノサービス
株式会社ナイスデイ

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

株式数

発行可能株式総数 560,000,000株
発行済株式の総数 329,648,786株
(前期末比3,300万株増)

株主数

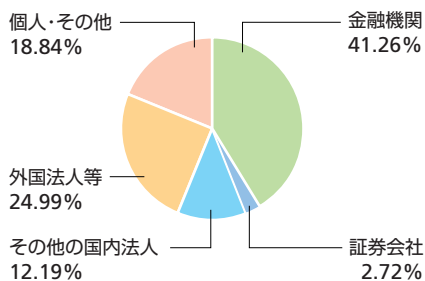
株主数 29,546名
(前期末比4,700名減)

大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況 持株数(出資比率)	
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,566	5.95
株式会社みずほ銀行	14,581	4.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,251	3.73
明治製菓株式会社	12,211	3.72
株式会社りそな銀行	11,000	3.35
日本生命保険相互会社	10,013	3.05
農林中央金庫	8,085	2.46
住友信託銀行株式会社	6,985	2.13
明治乳業共栄会	5,221	1.59
株式会社損害保険ジャパン	4,610	1.40

※出資比率は自己株式(1,032,639株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

同総会権利行使
株主確定日 毎年3月31日

期末配当金受領
株主確定日 毎年3月31日

中間配当金受領
株主確定日 毎年9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-232-711 (フリーダイヤル)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載アドレス <http://www.meinyu.co.jp/>

お知らせ

第129回定時株主総会の決議内容につきましては、当社ホームページに記載しておりますので参照願います。ホームページアドレスは次の通りです。<http://www.meinyu.co.jp>

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル

☎0120-244-479

で24時間承っておりますので、ご利用ください。



地球環境に配慮した大豆油
インキを使用しています



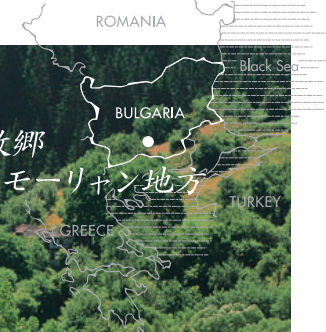
古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

この報告書は環境への配慮のため、古紙パルプ配合率100%再生紙と大豆油インキを使用しています。

健康って、おいしい。

MEIJI
明治乳業

ヨーグルトの故郷
ブルガリア・スモリアン地方



豊かな自然。緩やかな時の流れ。
ヨーグルトの伝統が生きつづける場所。

ブルガリアで生まれた、私たちのヨーグルト

明治ブルガリアヨーグルト LB81

特定保健用食品

自然のちからを、未来のチカラへ。